

令和3年度

高等学校入学者選抜学力検査予想問題

第 2 部

数 学

注 意

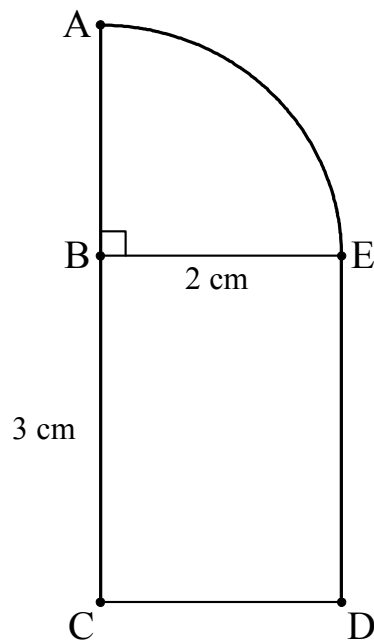
- 1 問題は、**1** から **5** まであり、11 ページまで印刷してあります。
- 2 学校裁量問題は、**5** です。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 4 **3** の問 3，**5** の問 2 (3) は、途中の計算も解答用紙に書きなさい。
それ以外の計算は、問題用紙のあいているところを利用しなさい。

1 次の問いに答えなさい。

問1 下の表は、ある地点での、4月1日～5日における最高気温をまとめたものです。アに入る数を求めなさい。

月日	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日
最高気温 (°C)	ア			20	21
前日との差 (°C)		+2	-3	+2	+1

問2 下の図のように、半径が2 cm、中心角が 90° のおうぎ形BAEと、 $BC=3$ cmの長方形BCDEがついている図形があります。この図形を、線分ACを軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。

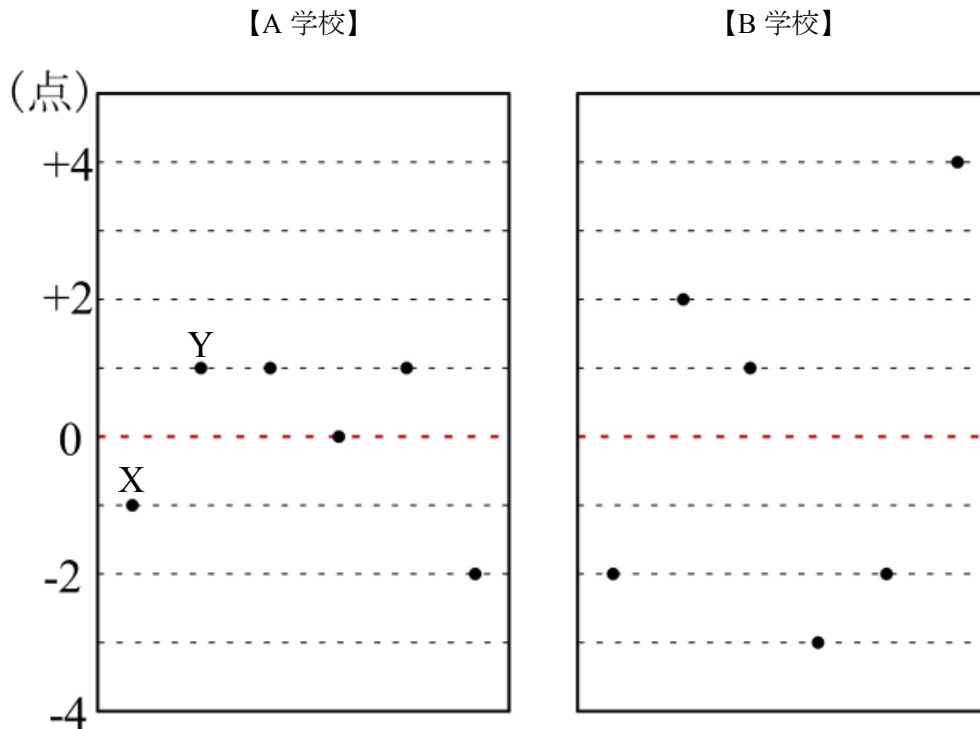


問3 $a = \sqrt{5} + 2$, $b = \sqrt{5} - 2$ とします。 $a^2 - ab + b^2$ の値を求めなさい。

問4 ある店では、昨日パンとおにぎりが合わせて 50 個売れました。今日売れた個数は、昨日と比べて、パンが 10% 増え、おにぎりが 5% 減り、合わせて 52 個でした。今日売れたパン、おにぎりの個数を、昨日売れたパンの個数を x 個、昨日売れたおにぎりの個数を y 個として連立方程式を作り、それぞれ求めなさい。

2 A 学校の 6 人の生徒と、B 学校の 6 人の生徒が、同じ 10 点満点の数学のテストを受けたところ、どちらの学校も平均点は同じでした。下の図は、12 人それぞれの「得点と平均点との差」を、学校別に表したものです。たとえば、「X」, 「Y」の点で表される人々の得点は、それぞれ平均点より-1 点, +1 点高かったことが分かります。この図について、布川さんと道音さんは会話しています、会話を読み、問いに答えなさい。

【図】



【会話 1】

布川： A 学校と B 学校の平均点は同じだけど、【図】のようすは全然違うね。
 道音： そうだね。この場合、A 学校と B 学校を比較する代表値として、平均値は適さないね。
 布川： うーん、じゃあ「得点と平均点との差」の中央値を出してみよう。A 学校が 点、B 学校が 点だ。2 校で異なる値にはなったけど、しっくりこないな～。
 道音： 「得点と平均点との差」最頻値は、A 学校が 点、B 学校が 点だね、これもしっくりこないな～。

問 1 【会話 1】の ～ に入る数を、それぞれ求めなさい。

【会話2】

道音： A 学校より，B 学校の方が得点のバラツキが大きいよね，それを上手く表せないかな。

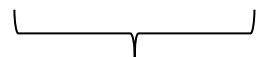
布川： 「得点と平均点との差」が大きいほどバラツキは大きくなるから，各学校で「得点と平均点との差」の和をだして，人数で割る，つまり「得点と平均点との差」の平均値を出せば，バラツキを表せる気がするな。

道音： それは良いアイデアだね。A 学校の場合，X の人は-1 点，Y の人は+1 点，計算していくと……A 学校の合計は 点，同じように計算すると B 学校の合計は 点，あれ？

布川： よくよく考えたら，「得点と平均点との差」の和は，いつでも必ず 点になるね。

問2 【会話2】の _____ の理由を，次のように説明しました。

ある学校の n 人の生徒が，数学のテストを受けたところ，点数はそれぞれ $x_1, x_2, \dots, x_{n-1}, x_n$ 点



n 個のデータ

であり， n 人の点数の合計は T ，平均点は \bar{x} であった。

「得点と平均点との差」の和は，

$$(x_1 - \bar{x}) + (x_2 - \bar{x}) + \dots + (x_{n-1} - \bar{x}) + (x_n - \bar{x}) = \text{力}$$

と表せる。

ここで，

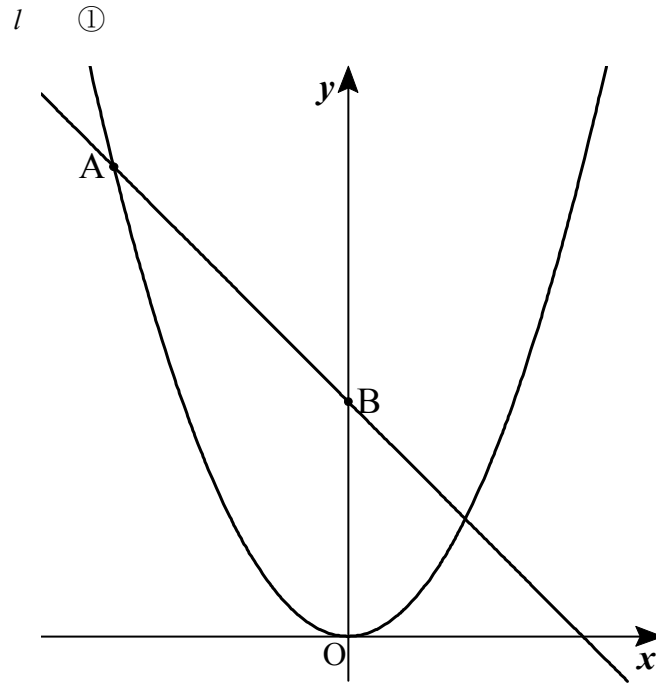
$$T = \text{キ}$$

であるから， に代入して計算すると， = となる

に入る数， には T, n, \bar{x} を使った式， には， n, \bar{x} を使った式を書きなさい。

3 下の図のように、関数 $y=ax^2$ (a は正の定数) ……①のグラフがあります。①上に点 A があり、 x 座標を -6 とします。点 A を通る直線 l と y 軸との交点を B とします。ただし、点 B の y 座標は正とし、直線 l の傾きは負とします。点 O は原点とします。

次の問いに答えなさい。

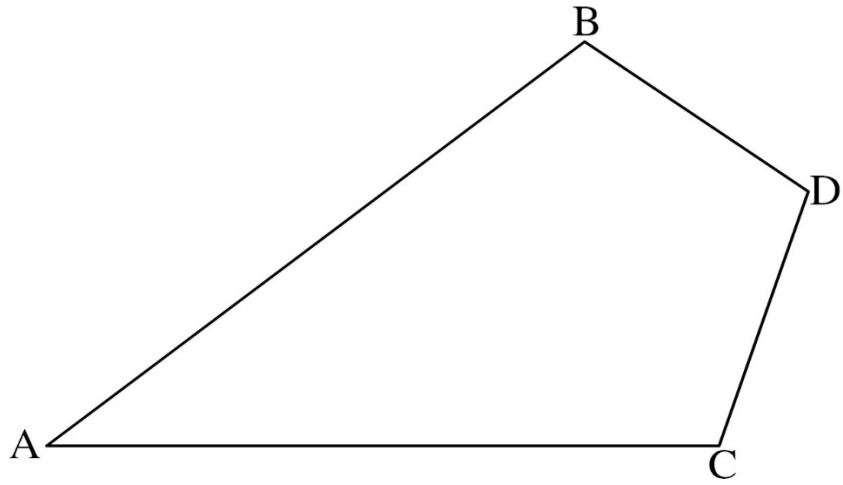


問1 直線 l の式が、 $y=-\frac{1}{2}x+4$ のとき、 a の値を求めなさい。

問2 $a=1$ とします。直線 l と x 軸との交点を C とします。 $AB=BC$ のとき、B の y 座標を求めなさい。

問3 $a = \frac{1}{3}$ とします。①上に、 x 座標が -3 である点Dをとり、点Dを通過して y 軸に平行な直線と直線 l との交点をEとします。四角形OBEDが平行四辺形となる時、直線 l の式を求めなさい。

- 4 下の図のように、 $AB=AC$ 、 $DB=DC$ の四角形 $ABDC$ があります。
次の問いに答えなさい。



問1 $\angle BAC=54^\circ$, $\angle ABD=100^\circ$ のとき、 $\angle DBC$ の大きさを求めなさい。

問2 $AD \perp BC$ を証明しなさい。

5 次の問いに答えなさい。

問1 $x < y < z$ とします。 $x + xy + xyz = 31$ となる正の整数 x, y, z の組を 2 組求めなさい。

問2 下の図のように、1辺の長さが2 cm の立方体 ABCD-EFGH があります。袋の中に、A, B, C, D, E, F, G, H の文字を1つずつ書いた8枚のカード \boxed{A} , \boxed{B} , \boxed{C} , \boxed{D} , \boxed{E} , \boxed{F} , \boxed{G} , \boxed{H} が入っています。

最初に、袋から1枚のカードを取り出し、書いてある文字に対応する立方体 ABCD-EFGH の頂点に印を付けて、カードを袋の中に戻します。

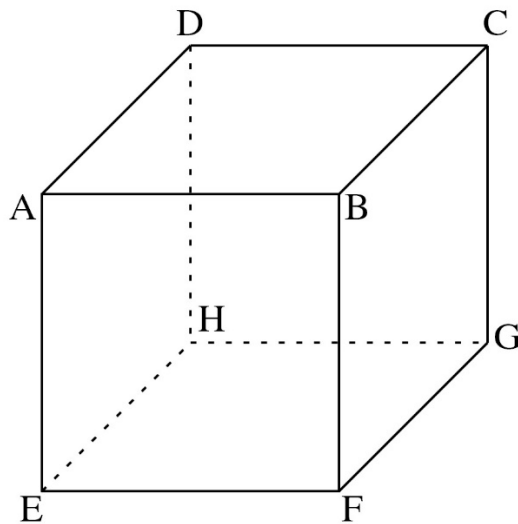
次に、同様に、袋から1枚のカードを取り出し、書いてある文字に対応する立方体 ABCD-EFGH の頂点に印を付けます。

最後に、立方体 ABCD-EFGH の頂点 A に印を付けます。

印をつけた頂点をそれぞれ結んでできる図形は、次の①から③までのいずれかになります。

- ① 印が付いた頂点が3つのときは、三角形
- ② 印が付いた頂点が2つのときは、線分
- ③ 印が付いた頂点がAのみのときは、頂点A

次の問いに答えなさい。ただし、袋からどのカードが取り出されることも同様に確からしいものとしします。



(1) 印を付けた頂点をそれぞれ結んでできる図形が、線分となる確率を求めなさい。

(2) 印を付けた頂点をそれぞれ結んでできる図形が，直角二等辺三角形となる確率を求めなさい。

(3) 印を付けた頂点をそれぞれ結んでできる図形が三角形のとき，三角形を含む平面で立方体を切断し，立方体が2つの立体に分けられたとき，大きい方の立体の体積を V とします。 V の最大値を求めなさい。ただし， V が最大値をとるときの印を付けた頂点も書くこと。

問3 下の図のように，正四面体 $ABCD$ があります。辺 CD の中点を M とします。解答欄に示した線分 AB をもとにして，平面上に表したときの $\triangle MAB$ を，定規とコンパスを用いて作図しなさい。ただし，点を示す記号 M をかき入れ，作図に用いた線は消さないこと。

